

贈呈式 2011 やより賞

12月3日(土) 13:30~
参加費無料

どなたでもご自由にご参加ください

厳しい状況の中に身を置きながら、
これからの世界に必要な、
重要な活動を担う意志をかためた女性たち。

— 贈呈式会場で、ぜひ今年の「やより賞」の
女性たちと出会って下さい。

やより賞

マレーシアから!

Sarasvathy Muthu

サラスワティ・ムトゥ

やよりジャーナリスト賞

今年を対象者2名です

Performance Artist

イトー・タリ

Editor & Project Planner

岸本 真奈美

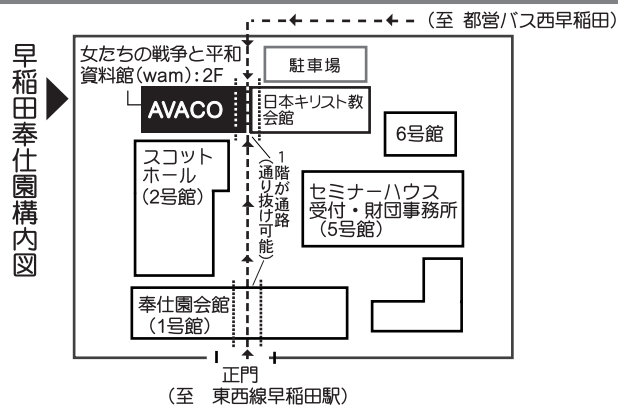
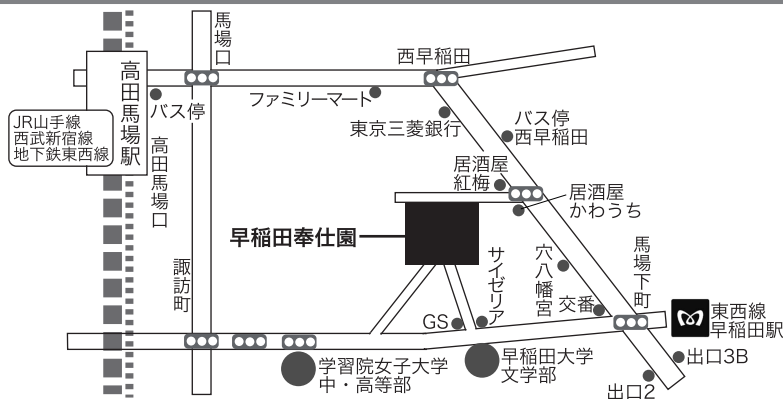
きしもと・まなみ

Profile — 1973年から身体が介入して成立するアートに関心を持つ。1982~86年オランダでパフォーマンスを始め、フェミニズムやセクシュアル・マイノリティの人権について考える。1994年東京でウィメンズアートネットワーク(WAN)を立ち上げ、「女性によるアート」の環境作りをめざす。「越境する女たち21」展(2001)、韓国の現代アーティストやナムの家との交流ツアー(2002)を企画。1996年には「自画像」でレズビアンであることをカムアウトし、以降、セクシュアル・マイノリティをテーマに展開。2006年元日本軍「慰安婦」の金順徳さんへのオマージュ、「あなたを忘れない」を発表し、それ以来、沖縄の基地を含め、戦時から現在に至る軍事下の性犯罪を暴くパフォーマンスを展開。2003年からPA/F SPACEを設立、運営。

Profile — 被差別部落に生まれる。民間保育所で在日差別や障がい児差別に取り組み、人権保育を実践。その後、ひょうご部落解放・人権研究所の職員として機関誌「ひょうご部落解放」の取材、編集に関わる。誰も取り上げなかった視点で沖縄、アスペルガー症候群、ハンセン病などを特集。2002年2月末から約1ヶ月間、狭山事件の新たな展開を求めて企画されたボブ・ディランに狭山の歌を突撃依頼するため渡米。その日々の健闘「GoGo岸本—ボブ・ディランへの道」を、ホームページで発信し大きな話題を呼ぶ。渡米中知り合ったNPO団体や大学教授との関係を深め、アリゾナのオール・ピープルズ・パワー・サミットで部落差別を当事者が初めて訴える機会を得た。2010年夏には、被差別者の子どもたちに多様性を体感してもらうロジャーズサマースクールをプロデュース。同年、がんの治療を続けながら、アメリカ在住の在日コリアンのグループ、Eclipse Risingの「連帯・教育ツアー2010」をサポート。被差別の視点を持つ草の根ジャーナリストとして、様々な表現活動を展開している。

●贈呈式会場 — 早稲田奉仕園AVACO内チャペルへの交通案内

JR高田馬場駅早稲田口から徒歩20分/高田馬場駅早稲田口からバス12分(「学02 早大正門行き」で『西早稲田』下車) / 地下鉄東西線早稲田駅から徒歩5分



第9回特別展開催中 — 2011年7月2日~2012年6月17日

贈呈式会場 AVACO ビル内にて開催。どうぞお立ち寄り下さい。

フィリピン・立ち上がるロラたち~日本軍に踏みこまれた島々から~

水~日曜日 13:00~18:00 (休館日: 月・火・祝日・年末年始) 18歳以上500円、18歳未満300円、小学生以下無料
東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F Tel: 03-3202-4633 Fax: 03-3202-4634 <http://www.wam-peace.org/>

wam
アクティブ・ミュージアム
女たちの戦争と平和資料館

◎やより賞贈呈式はこの国際キャンペーンに協賛しています。

ジェンダー暴力と闘う16日間キャンペーン2011 <http://16dayscwg.rutgers.edu/> 11/25(金)~12/10(土)